

里づくりテーマ：南白神の里

- 南白神の里山の魅力を発信し、訪れてくれる人たちにとって第2のふるさとになるような心の安らぐ場所になり、関係人口を増やすためのきっかけになる里にしたい。
- 地域住民と大学生を交え、空き家活用の拠点を整備、農園作りを楽しみながら、長期滞在可能な貸し田舎を作る。

【今ある地域資源】

- 登山・自然散策（小岳、藤里駒ヶ岳、岳岱自然観察教育林、田苗代湿原、素波里園地等）
- 横倉の棚田（ワサビ、クレソン栽培、サクラマス、イワナ養殖）
- 大野岱放牧場（サフォーク種白神ラム）

現在の地域状況

- ◇人口減少と高齢化が進み、持続的に地域を維持していくことが難しくなっている。住民の力で持続的に集落を維持するために農家民宿の経営を行っているが、後継者が不足しているので育成しなければならない。
- ◇南白神山地(世界自然遺産白神山地の秋田県側)を訪れるインバウンドはまだ少なく、長期滞在が可能な宿泊設備がまだない。
- ◇農泊推進のおかげで賑わいを創出している。大学生グループのかかわりも継続して新たなつながりが生まれている。藤沢市との交流もお互いに行き来しながら深化している。

【里づくり計画】計画策定・拠点整備・活動支援

- ＜計画策定＞
 - ◇講師を招いて里づくりワークショップを開催、地域住民・大学生と共に南白神の里山づくりの計画・立案をおこなう。
 - ◇農泊先進地を視察、古民家を活用した一棟貸しの運営管理等を学ぶ。
- ＜拠点整備＞
 - ◇空き家を活用し長期滞在可能な貸し田舎作りを行う。
 - ◇建築アドバイザーを設置、空き家リノベーションを住民・大学生とアイデアを出しながら進める。
 - ◇身体の不自由な人たちも農泊体験が楽しめるよう農家民宿の一部をバリアフリー化する。
- ＜活動支援＞
 - ◇農園作りで楽しい貸し田舎暮らし(一口農園計画)
 - ◇森林を活用した体験メニューの充実(枝打ち、下草刈り等森作りや山菜・きのこ採り体験等)
 - ◇清流の川魚や山の幸をいかした地域の手作りの食に磨きをかけて、農家民宿、農家レストランのメニューを充実する。

魅力ある里づくりの構想(目標)

- ◆大学生や地元住民を交えて南白神の里づくりを行い、交流人口を増やし、地域に賑わいをもたらす。
- ・農家民宿宿泊者・売上実績目標
令和元年291人 → 令和4年380人
- ・インバウンド18人 → 60人
- ・体験交流プログラム受入実績目標
令和元年151人 → 令和4年200人
- 里づくり交流人口
◆令和元年度786人 → 令和4年度1,500人
- ◆農泊事業売上目標額
令和元年度3,055千円 → 令和4年4,000千円



農家民宿



畑収穫体験



ブナの森自然散策



木苺摘み体験



横倉の棚田